

# M f g Xプロジェクト設置提案書（承認）

受付番号	MfgX-P-20040423-1
提案日	2004 年 4 月 23 日
提案者	株式会社山武（正会員、橋向博昭） 株式会社デジタル（正会員、村上正志） 横河システムエンジニアリング株式会社（正会員、横山茂雄） 新 誠一（学会会員） 倉恒匡輔（個人会員：推薦「株式会社デジタル（正会員）」）
プロジェクト名称	製造業文書連携プロジェクト
提案内容	別紙参照
その他特記事項	開催頻度：1 ～ 1.5 ヶ月毎 開催場所：原則として製造科学技術センター会議室
提案の問い合わせ先	製造業 X M L 推進協議会 事務局 岡宗秀一 電 話 03 - 5472 - 2561 F A X 03 - 5472 - 2567 E-mail okamune@honbu.mstc.or.jp
MfgX 運営委員会承認日	2004 年 4 月 23 日
備考	

(別紙)

## 文書連携プロジェクト設置申請

### 申請趣旨

製造業における文書の紙文化を抜け出し、21世紀の製造業として強い日本の製造業を作るにも、現場系の文書と管理系、情報系の文書の相互連携は、やらなければならない課題と考えます。その文書の電子化と現場及び管理系と情報系の相互連携及び再活用は、XMLを使用することで、今までできなかったことが可能になる世界を作り出していきます。

そのために、製造業における文書連携プロジェクト設置を以下申請するものです。

### 申請内容：

プロジェクト名：「製造業文書連携プロジェクト」

申請メンバー： 新 誠一 (東京大学大学院情報工学系研究科助教授) 学会会員

倉恒匡輔 (鐘淵化学工業株式会社) 個人会員

橋向博昭 (株式会社山武) 正会員

村上正志 (株式会社デジタル) 正会員

横山茂雄 (横河システムエンジニアリング) 正会員

活動目的：製造業における現場系・管理系・情報系の相互文書連携の実現を目指して、必要となる課題を取り上げ、解決策を検討し、これを推進する活動を行う。

2004年度活動予算：2004年7月までに、参加団体及び参加企業を募り、文書連携のビジョン及びロードマップである3カ年計画を作成し、2004年度内にできることを検討する。

### 補足：

文書連携においては、マイクロソフト社、オラクル社、IBM社、サンマイクロシステムズ社など文書を扱ったシーズ提供企業が存在するため、これらの企業との連携を考慮するとともに、OASISなど国外の標準化団体との連携も視野に入れての活動を考えておく必要があると考えます。できる限り、協力企業や団体の助力を活用しての活動展開になると思われます。

以上